



News Letter 2015 No.2

日本観光ホスピタリティ教育学会学会報

通巻 第41号 発行 2015年12月22日

◇学会事務局：杏林大学外国語学部 古本泰之、野口洋平
〒192-8508 八王子市宮下町 476 杏林大学外国語学部
Tel 042-691-0011 (代表) Fax 042-691-8617 (共用)
email: jimujsthe.org ◇学会 URL : http://jsthe.org
◇編集・発行人：野口洋平 (noguchi@ks.kyorin-u.ac.jp)

【2015年度全国大会のご案内】

今年度の全国大会は、2016年2月27日(土)と2月28日(日)の2日間にわたり、立教大学新座キャンパスにて実施することが決定いたしました。テーマは「観光ホスピタリティ教育における高大接続～高校教育と大学教育の改革と接続問題～(仮)」です。

大会プログラムの概略と研究発表の申込方法、ワークショップテーマの申込手順についてご案内申し上げます。一人でも多くの方にご参加いただけますようお願い申し上げます。なお、プログラム詳細や参加申込につきましては、1月中旬にお届けする予定です。

1. 大会概要

- (1) 開催日 2016年2月27日(土)・28日(日)
- (2) 開催地 立教大学 新座キャンパス
〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26
メイン会場 8号館
- (3) プログラム概要

<1日目 2月27日(土)>

- 午前中 理事会
- 12:30 受付開始
- 13:00 開会式
- 13:05 研究・教育実践発表
- 14:50 基調講演(講師人選中)
- 16:00 シンポジウム(パネリスト等人選中)
- 18:10 懇親会(学生食堂「フォレスト」2F)

<2日目 2月28日(日)>

- 9:15～ 受付
- 9:30 ワークショップ話題提供
- 10:30 ワークショップ
- 12:10 ワークショップ報告
- 12:50 閉会式(12:55頃終了予定)

※ プログラムの内容・時間等は変更することがあります。

2. 研究・教育実践発表の募集について

研究・教育実践論文および教育実践報告の発表者を募集します。いずれも、会員または会員を含む連名による発表が条件です。希望される方は、学会ウェブサイトにある募集要項(全国大会様式1)と執筆要領(全国大会様式2)、応募用紙(全国大会様式3)をダウンロード、ご覧のうえ、応募用紙に必要事項を記入し、電子メールで2016年1月12日(火)までに送付ください。

応募用紙を受け取り次第、大会論文執筆フォーマットをメールでお送りいたしますので、執筆要領にしたがって大会論文集用の原稿を作成し、2月8日(月)までに電子メールで提出していただきます。なお、発表査読は行いませんが、内容・様式に著しく問題がある場合は、発表を認めない場合があります。また、研究発表論文集費用(5,000円)は大会当日にお支払いいただきます。

■ 発表応募締切 2016年1月12日(火) 必着

■ 発表論文完成原稿締切 2016年2月8日(月) 必着

<大会論文集担当>

発表のご応募やお問い合わせはこちらまで。

中村学園大学 浅岡柚美

電話：092-851-2531 (内線540)

電子メール：taikai@jsthe.org ※電子メールが確実です。

3. ワークショップテーマ募集

大会2日目には、十数名のグループで統一テーマに沿ったディスカッションを行う、ワークショップを企画しております。現時点では、ワークショップテーマとして、①高大接続、②産学連携の2つが決定しており、3つ目のテーマを募集いたします。可能な限り、モデレーター候補者(機関誌用の原稿もご執筆いただきます)とワークショップ話題提供(25分程度)をご担当いただける方を明記の上、下記5.の大会事務局までお申し出ください。応募締切は1月8日(金)メール必着とさせていただきます。1月の理事会にて検討し、次回のご案内にてテーマを発表いたします。

4. 大会参加費

参加費：正会員2,000円、準会員・大学院生1,000円、一般3,000円、学部生無料

懇親会費：正会員・一般4,000円、学生3,000円

なお、基調講演およびシンポジウムは会員外も含め、どなたでも無料でご参加いただけます。(要事前申込)

5. 大会事務局

川村学園女子大学観光文化学科 丹治朋子

TEL/FAX 03-6908-3822(共同研究室)

電子メール: taikai@jsthe.org ※電子メールが確実です。

【総会・講演会報告】

2015年6月20日(土)に、東海大学代々木キャンパスにおいて「学生のキャリア形成と就職活動支援」をテーマに、2015年度総会・講演会を開催しました。参加者数は、一般参加13名を含む、42名でした。

基調講演では、株式会社リクルート キャリア就職みらい研究所所長の岡崎仁美氏に、「大学生の就職の“いま”と“みらい” -大卒採用動向、採用時期繰下げと就活・キャリア形成-」というテーマでお話いただきました。

続いて、シンポジウムに先だて、株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル営業企画部長の五十嵐潤子氏に、「女性が活躍する時代と就職」というテーマでお話いただきました。その後、会長の小畑力人氏(追手門学院大学)をモデレーターに、内田二郎氏(株式会社JTB総合研究所)、館野和子氏(東海大学)、海老澤昭郎氏(長崎国際大学)をパネリストに迎え、「学生のキャリア形成と就職活動支援」というテーマのもと、議論が展開されました。

基調講演、シンポジウムの内容は、学会の機関誌『観光ホスピタリティ研究』に掲載予定です。

会場をご提供いただきました、東海大学と運営を手伝って下さいました東海大学観光学部生の皆様に、あらためて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

【理事会報告】

<2015年度 第2回定例理事会>

(1) 日時: 2015年6月20日(土) 11:00~12:30

(2) 場所: 東海大学代々木キャンパス 4号館 5階 4504教室

(3) 出席者: 小畑会長、宍戸副会長、海老澤理事、鈴木泰夫理事、鈴木涼太郎理事、高橋理事、館野理事、丹治理事、古本理事、安島監事、吉田監事(委任状3通)

(4) 議事

1) 退会審査

- 4名(坂巻嘉孝、高嶋重次、羽田耕治、飯田一郎)の退会希望が報告され、了承された。(敬称略)

2) 2015年度総会・講演会について

- 総務担当理事より、資料に基づいて報告が行われ、全体の進行が確認されました。
- 事務局より、2014年度決算報告が行われ、承認されました。
- 総務担当理事より、2015年度事業計画が報告され、

承認されました。あわせて、2015年度より幹事として追手門学院大学峯俊氏、帝京大学金氏が加わることが報告されました。

- 事務局より、2015年度予算について説明が行われ、承認されました。研究助成にかかわる予算は2017年度に計上することとなりました。

- 事務局古本理事より、予算案と関連して事務局移転に関する状況報告が行われました。現在の事務局業務全体を受け入れ可能な大学がないため、業務を分割・分散することで対応することが確認されました。当面、財務管理と会員管理は杏林大学で行いつつ、機関誌の発送などは外部業者へ移管し、新ウェブサイトの稼働にとともに会報の発送を簡素化するなどの対応を行うことが了承されました。その際、個人情報の受け渡しなどについて十分に留意して行うことを総会で報告し、承認を得ることとなりました。

3) 研究助成・行動倫理について

- 行動倫理規定策定の進捗状況が報告されました。JITRでも現在同様の取り組みを行っており参照しながら進めることが了承されました。
- 宍戸副会長より、資料をもとに新規事業検討委員会の設置と研究助成・新規事業の案が示されました。倫理規定の策定を待って2016年度に募集、2017年度からの助成開始を目指して進められることとなりました。その他の新規事業の検討もあり、新規事業検討委員会として広く会員から委員を募ることとなりました。

4) 編集委員会報告

- 副編集委員長より、資料に基づいて第9号編集の進捗状況について説明が行われた。
- 機関誌第9号の書評対象ならびに執筆者について報告が行われ、了承された。
- CiNii終了にともなうJ-STAGEへの移行について、スケジュール案ならびにデータ登録作業を広報委員会へ移行する作業分担案が示され、承認されました。機関誌発行後1年間は会員のメリットを考慮し非公開することとなりました。

5) 広報委員会報告

- 海老澤委員長より、資料に基づいて説明が行われました。
- 会員増員のために、各種学会賞を設置し会員である教員の評価向上につなげていくことが提案されました。新規事業とも重なる領域でもあり、新規事業検討委員会と連携しながら今後検討していくこととなりました。

6) 大会・研究会テーマについて

- 総務担当理事より、2015年度の大会・研究会のテーマについて報告され、観光・ホスピタリティ教育における高大連携に関連するテーマを軸に検討

することとなりました。

7) ウェブサイトリニューアルの進捗状況について

- 事務局より、ウェブサイトリニューアルの進捗状況について報告されました。
- 会員専用ページで閲覧できる会員情報の選択について案が示され、承認されました。また、ウェブのリニューアルにともない紙ベースのデータブックや会報は廃止されることとなりました

(以上)

<2015年度 第3回定例理事会>

(1) 日時：2015年11月7日(土) 13:00~14:45

(2) 場所：東海大学代々木キャンパス 4号館 5階 4504教室

(3) 出席者：小畑会長、浅岡副会長、朝倉理事、鈴木泰夫理事、鈴木涼太郎理事、高橋理事、館野理事、丹治理事、野口理事(委任状3通)

(4) 議題

1) 総会・講演会実施報告

- 総務担当理事より総会・講演会の状況及び決算について報告がありました。
- 学校行事等との重複が確認されるが、別日の設定も難しく、今後も同様の日程とすることを確認しました。

2) 第15回全国大会企画

- 企画案について、資料に基づき総務担当理事から説明がありました。
- テーマ案は「高大接続と観光・ホスピタリティ教育 ―接続テスト、入試、教育などの課題をめぐって―」(仮題)とします。
- 学生ボランティアスタッフについて、他大学の学生も含め依頼することとなりました。
- 学生ボランティアについては、学会長名でボランティア証明書を発行する方向で検討します。

3) 2016年度総会・講演会について

- 2016年6月の土曜日に実施する予定です。日程は1月または3月の理事会にて決定します。

4) 編集委員会

- 資料に基づいて編集委員長から説明がありました。
- 機関誌第9号は予定どおり発行する予定です。
- 掲載論文確保のため、招待論文などを検討します。

5) 総務委員会報告

- 学会の個人データ更新について、まだ連絡のない会員が多いことが報告されました。次回会報にて再度更新手続きの依頼をします。
- 学会ウェブサイトはリニューアルして公開中で

6) 倫理委員会について

- 日本観光研究学会の動向を確認しながら推進予定であるという委員長からの伝言が紹介されました。

7) 研究会について

- 教授法、ゼミ運営など、大学教員としての基礎的な教育スキルに関する研究会やワークショップを今後検討したいと発案があり、新規事業としての立ち上げも含めて検討することとなりました。

8) 退会審査

- 審査の結果、次の退会が認められました。
- 退会：千葉千枝子、三上貴彦、細野光一、高嶋重次、飯田一郎、藤田恵美子(敬称略)
- 審査後の会員数は、158名(正会員145名、準会員9名、特別会員1団体、名誉会員3名)です。

(以上)

【機関誌編集委員会】

機関誌『観光ホスピタリティ教育』第10号

<投稿原稿募集のお知らせ>

日本観光ホスピタリティ教育学会の機関誌『観光ホスピタリティ教育(英語名: Annals of Tourism & Hospitality Education)』の投稿原稿を募集いたします。

観光ホスピタリティ分野の教育活動を行っている大学院、大学、短期大学、専門学校、高等学校はますます増加しております。会員の皆様がかかわったさまざまな教育実践の取り組みや学術的な研究の成果をぜひ、本学会の機関誌でご発表ください。

会員の皆様からの投稿を編集委員会一同、心からお待ちしております。また、編集委員会から原稿執筆などをお願いした際には、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

- 第10号の原稿締切日：2016年4月30日(土)
- 原稿投稿先：投稿申込書1部と審査用原稿1部をPDFあるいはワードのファイルにて(PDFが望ましい)、本学会本部事務局(jimu@jsthe.org)にメールで送付。投稿申込書は本学会ホームページよりダウンロードください。
- なお、投稿規定、執筆要項、審査規定が2014年11月22日付けで変更となり、第9号から電子媒体での投稿となりました。ご確認くださいませようお願いします。

(以上)

【研究会報告】

2015年11月7日(土) 15:00~17:00(場所:東海大学代々木キャンパス 4号館 4505教室)に開催された、2014年度第2回研究会についてご報告します。

今回は、「大学ランキングから見えてきたもの ―これ

からの大学入試と大学、そして「高大接続」をテーマに、小林哲夫氏（編集者、教育ジャーナリスト）を講師に迎えて行いました。

小林氏は、朝日新聞出版『大学ランキング』の編集を担当してきたことで知られており、成蹊大学国際教育センター非常勤講師、元・広島大学高等教育研究開発センター客員研究員を歴任されています。その経験をふまえ、ランキングで評価しやすい指標、高大接続と高等学校基礎学力テスト、世界ランキングなどについてお話いただきました。最後に質疑応答を行い、活発な意見交換が行われました。

【観光ホスピタリティ教育の動向】

1. 川村学園女子大学、藤田観光との包括的産学連携

当学科は、2015年4月より目白キャンパスにて新入生を迎えております。移転の年となりました今年、目白にてホテル椿山荘東京を運営する藤田観光株式会社は創業60周年という節目の年を迎え、周年記念行事の一環として本学との産学連携がスタートしました。

大学にとっては、教室で学んだ理論を実際の現場で体験・確認し、事業活動に参画するといった実践的な学びの機会を得ることができております。また、企業サイドとしては、普段ホテルに足を運ぶ機会の少ない次世代顧客ニーズの把握に加え、今後の観光業界における人材育成などが効果として期待されています。

活動内容を分類しますと、①見学・体験、②研修、③商品開発、④広報活動、⑤ゲスト講師、⑥スタッフインタビューなど、多岐にわたっております。

①見学・体験としては、4月に新宿にオープンし、ゴジラの「等身大」の頭部などがビル上層階に設置されて話題となった、ホテルグレイスリー新宿の開業前見学会、夏にはホテル椿山荘東京にて「ミッフィールームを見学し、秋には箱根ホテル小涌園の見学と体験宿泊および周辺観光資源・施設調査を実施しております。

日頃、ホテルの利用経験に乏しい大学生に、ホテルの



浴衣の着付けを学ぶ（撮影：東京カメラガールズ）

様々な商品を体験させ、その内容や提供の仕組みを理解する取り組みも行っています。たとえば、ホテル椿山荘東京の庭園にホテルが舞う6月には、浴衣を自分自身で着付ける教室を開き、浴衣姿でラウンジにてアフタヌーンティー体験をし、その後、庭を浴衣姿で散歩しホテルを鑑賞するという「浴衣 de ホテル」という本学向けのイベントを開催して1年～3年の学生が参加しました。

この他にもレストランでの食事、ホテルへの宿泊、庭園の散歩等さまざまな体験を通じてホテルの経営・運営の工夫を実体験とともに学ぶことができております。

②研修では、亜細亜大学とともに料亭にて和食のセミナーを受け、施設見学、食事体験などを行いました。

現在は、③商品開発に取り組んでおります。箱根ホテル小涌園の商品企画チームと学生とで、来年1月から3月に販売する卒業旅行プランを開発中です。

そして、ホテル椿山荘東京で働く13の部署の皆様④スタッフインタビューをさせていただき、仕事の内容や日々気を遣っている点、仕事に対する誇りなどを伺いました。また、当学科の専門科目「観光文化総論（2）」へ、⑤ゲスト講師を迎えております。本社をはじめ、箱根を中心としたリゾート事業、ワシントンホテル事業、ホテル椿山荘東京を核としたラグジュアリー&バンケット事業の若手のご担当者に大学の教室で講義をしていただき、最終回にはホテル椿山荘東京の見学と講義を同ホテルにて実施します。事業者の創意工夫によって観光の文化がどのように変化したか、ディスカッション繰り返している科目です。そして、これらの活動内容や、インタビュー、学生自身が自発的に見つけたホテル等の工夫や周辺地域の情報などを、⑥広報活動として学園祭や、facebook（藤田観光と共同で解説した「目白の森女子大学」<http://www.facebook.com/Mejironomori>）にて公開しています。さらには、学生が勧める目白・箱根の2ホテルに関するパンフレットを作成中です。

若手社員の育成の機会にもなるとの声があり、学生は社会人基礎力の育成にもなっております。インターンシップ等、今後も継続的・長期的に連携する予定です。

（情報提供：川村学園女子大学 丹治朋子）

【編集人より】

ニューズレターでは、会員の皆さまから提供された観光ホスピタリティ教育の情報や書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から2年以内の書籍（定期刊行物を除く）を扱います。ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。

ご協力をお願いします。

編集・発行人 野口洋平（杏林大学）

E-Mail : noguchi@ks.kyorin-u.ac.jp

FAX : 042-691-8617（大学共用）